

緑化だより

No.170 令和 3年 4月号



カラタチ

- 季節の花(オキナグサ)
- 昆虫の話(早春のチョウ)
- 小さな世界こけ
(コケが観察できる場所(12-1))
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内


広島県立大学の木々
広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園
〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2
TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843
URL <https://ryokka-c.jp>

季節の花

オキナグサ

「芝付(しばつき)の御宇良埼(みうらさき)なる ねっこ草

相見(あいみ)ずあらば 我(あ)れ 恋ひめやも」

詠み人知らず 万葉集 卷14-3508

これを訳しますと

(三浦崎に咲くねっこ草のような可憐なあの子と、どうとう共寝してしまった。

もし互いに会うことがなかったなら、こんなに恋焦がれ苦しむことはなかったのに。

あの娘がとても愛おしい。)

御宇良埼は神奈川県の三浦半島の先端との説がありますが、詳しい場所は不明です。

歌の中の「ねっこ草」は「寝っ娘」すなわち共寝した娘のことです。

古名「根っこ草」は現代名ではオキナグサのことです。

オキナグサは、キンポウゲ科オキナグサ属で、日当たりのよい草原や川原に生える多年草です。本州、四国、九州、朝鮮半島、中国大陸に自生しています。

全草に白色の長い毛が密生し、花茎は10センチほどで、花は釣鐘形で下向きに咲きます。花びら状のガクの外側は長い白い毛におおわれて、内側は暗赤紫色です。花が終わったあと、多数の果実からめしべの花柱が長く伸びます。白い綿毛のある姿が老人の白髪に似ているため、和名「翁草(おきなぐさ)」、漢名「白頭翁(はくとうおう)」と言います。白頭翁は漢方で白い根(ねっこ草)を表しています。

オキナグサは有毒植物ですが漢方薬として利用されます。かつては、多くの自生地がありましたが、現在は大幅に減ってきています。農業が盛んな頃は、草刈りが行われ管理されていましたが、現在では宅地造成や盗掘により激減し、今では身近に見ることが出来なくなり、絶滅危惧種に指定されています。1956年頃には広島市西区己斐の柚木谷の山辺にも自生していました。その時の標本が広島大学宮島実験所に収められています。(上村)



オキナグサ



老人の白髪のような果実

昆虫の話

早春のチョウ

4月から昆虫を担当する相良です。まずは、自己紹介をさせていただきます。

3月末で県を退職し、今年還暦を迎えます。幼少期から虫が好きで、長年ガ(主)とチョウ(従)の収集に明け暮れましたが、ここ20年仕事が忙しく廃業状態でした。今月から園内の調査をはじめますので、しばらくは昔取った杵柄で話題を提供させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、早春のチョウとして、当園は昔から「ギフチョウ」が有名です。ギフチョウは日本(中でも本州)特産のアゲハチョウ科のチョウです。幼虫はカンアオイを食べます。

私も過去に管理事務所前のソメイシノの花の周りや、展望広場で舞う優雅な姿を何度も目撃しました。カンアオイ(サンヨウアオイ)も園内の林床で点々と確認できます。

また、春はギフチョウ以外のチョウも一斉に羽化します。モンシロチョウ、ベニシジミ、アゲハチョウ等々。

そこで今回は県内に生息するルリシジミの仲間4種を紹介します。

まずは「**ルリシジミ**」

早春に第1化が羽化し、晩秋まで発生を繰り返す県内全域に見られる最もポピュラーな種です。

2種目は「**スギタニルリシジミ**」

翅裏面の地色が他種では灰白色に対し本種は淡い茶褐色。幼虫はトチノキにつき、県内では中国山地の溪谷沿いに生息します。成虫は年1回4月中旬から5月初旬の短い間にだけ見られます。

3種目は「**ヤクシマルリシジミ**」

県内では2000年に下蒲刈島で初めて採集され、地球温暖化の影響か、その後瀬戸内沿岸に点々と分布を拡大しています。幼虫はイスノキにつくとわれています。

最後は「**サツマジミ**」

雄の前翅はつま先が黒く白斑が入って愛らしい模様です。早春に第1化が羽化し、秋期まで見られます。幼虫はサンゴジュ、クロキ等の花蕾を食べることから、成虫は植樹の花蕾期に合わせて産卵するため移動するらしく、見られる場所が季節によって異なります。

樹間や葉上をチラチラと飛ぶルリシジミの仲間、園内では何種確認できるかな？ (相良)



上段：ギフチョウ (左♂右♀)
中段：ルリシジミ (左♂右♀)、スギタニルリシジミ (左♂右♀)
下段：ヤクシマルリシジミ (左♂右♀)、サツマジミ (左♂右♀)

小さな世界 こけ

コケが観察できる場所(12-1)

今回は東山作業路に入って見ましょう。作業舎を左手に見ながら中水池、浄水場の横を過ぎ約10分歩くと、ネットを貼った斜面があります。

平成30年7月の大雨で崩壊しましたが、翌年の令和1年5月に復旧されました。それから約2年たった現在、ネットのあちこちにヒョウタンゴケ、キンビゴケ、コクサゴケ、ギンゴケ、ハリガネゴケ、エゾスナゴケ、など約10種類のコケが群生しています。

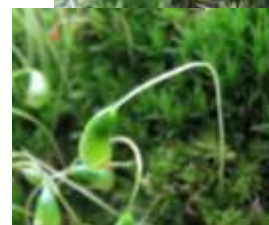
ヒョウタンゴケは、裸地や明るい尾根筋の山道などで見られますが、焚火の跡に生えることでもよく知られています。時には植木鉢に生えていることがあります。園芸店のビニールポット一面に生えているのを見たとき、花の苗が枯れていたため、コケを販売していると勘違いしたことがありました。

植物体は5~6mm。葉は黄緑色をした卵型で、長さ約2mm、乾燥するとねじれます。小さなため目立ちませんが、春先に長さ1cmくらいの柄の先に、洋梨形をした胞子のうをつけると気がつきます。

この胞子のうの形が名前の由来です。(山根)



ヒョウタンゴケ



ヒョウタンゴケの胞子のう

研修会のご案内

- 4月4日(日), 29日(木・祝) 『自由工作塾』
木の実や枝を使って自由に工作しよう
10:00～15:00 イベント会場
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧
※自由参加(随時受付)・1作品100円、雨天中止
- 4月4日(日), 29日(木・祝) 『ネイチャーゲーム』
自然の中での遊びを体験します
10:00～15:00 イベント会場
講師:広島市シェアリングネイチャーの会
※自由参加(随時受付)・無料
- 4月4日(日), 29日(木・祝) 『たね団子を作ろう』
草花のたね団子作り挑戦しよう
1回目 11:30～ イベント会場
2回目 14:00～
講師:緑化センター職員
※現地受付(各先着20名)・材料費200円、雨天中止
- 4月9日(金) 『4月の自然探勝』
～春はあけぼの～
10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師:NHK広島文化センター アシスタント
上村 恭子
散策しながら植物を観察します
※自由参加・無料
- 4月11日(日) 『山菜教室』 10:00～12:00 学習室 集合
山菜についての講義と野外で観察します
講師:森林インストラクター
長井 稔
※要予約(先着20名)・無料、試食・採集なし
- 4月12日(月) 『藤ヶ丸トレッキング』 10:00～12:00 第5駐車場 集合
～登頂の感動を分かち合おう～
講師:緑化センター職員
距離2.5km、標高差150mに挑戦します。やや健脚向き
※要予約(先着15名)、無料、雨具持参、雨天中止

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、
参加者はマスク着用、手・指の除菌、密集・密接を避けるようご注意ください。
また状況によっては、研修内容の変更や中止となる可能性があります。
ホームページ、お電話等で最新の情報をご確認ください。

☆お知らせ・ご案内☆♪

- ・『ひろしま遊学の森 スタンプラリー2021 春』 ～5月23日(日)
スタンプラリー:緑化センターと森林公園の両園で
スタンプを集めて景品ゲット!
- ・さくら祭り ～4月18日(日)
さくらクイズに参加して景品ゲット
期間中、早咲から遅咲きのサクラ約60種類が楽しめます。
- ・さくら祭り お楽しみイベント 4月4日(日)10:00～15:00
場所:レストハウス前広場
- ・第25回 みどりの集い 4月29日(木・祝)10:00～15:00
場所:管理事務所・苗畑周辺



◎ 展示会

- 場所:レストハウス (ガラスケース展示)
木工クラブ歳時記
- 場所:学習展示館(ボード展示)
緑化センターのさくら写真展



木工クラブ歳時記より

～4月18日(日)